授業サンプル3\_指導案

**「赤字」バスに補助金は必要ですか？**

**～コミュニティバスへの補助金の支出を検討しよう～**

１．本授業のねらい

　本授業は、地域の交通を支えるコミュニティバスの「赤字」路線に焦点を当て、公文書等をはじめとする資料の読解により、その利用状況を調べ、グループワークを通じて、市民のニーズに合った路線の改革案を議論し、自治体の支出の在り方を考察することをねらいとしている。

　近年、地域の交通空白地域・不便地域の解消を図るため、地方公共団体は、コミュニティバスやデマンド交通に注力している。関東においては、公共交通の補助や高齢者などの移動困難者への対応を目的に、およそ7割の地方公共団体において、コミュニティバスが導入され、広がりを見せる一方で、その運行経費が「赤字」となる路線も少なくない。地方公共団体は、「赤字」路線に対して補助金を支出し、その維持を図っている[[1]](#footnote-1)。いま多くの地方公共団体では、コミュニティバスの見直し・改善に着手しているが、その目的は「赤字」路線の解消という「収支改善等」をねらいとした見直し・改善ではなく、「利便性の向上」、「利用の促進」に重きが置かれている。

　本授業では、グループワークによる公文書等の資料読解を通して、地域における「赤字」路線のコミュニティバスの利用状況を巡る課題の検証を図るとともに、グループで協力して、地域のニーズにあった路線の在り方を議論し、地域の交通政策に関する改革案を検討させる。これにより、「赤字」路線という財政面だけでは語ることができない、市民生活のなかでのコミュニティバスの役割を考察し、地方自治のあり方について考察を深めることをねらいとしている。

２．本授業で修得を目指す「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」と指導のポイント

本授業では、授業冒頭においてコミュニティバスの「赤字」路線に対する生徒自身の「賛成」・「反対」意見を確認したうえで、コミュニティバスを巡る社会状況、とくに○○市の現状を考察する。その後、○○市の現状のなかでも、一つの「赤字」路線に絞り、グループワークを通じて、公文書の読解からその利用状況（移動実態）を検証するとともに、市民のニーズに合った路線の改革案を議論し、発表を行う。授業最後に、授業冒頭と同じ質問を行うことで、身近な社会問題に対し、主体的に問題解決に取り組み、根拠をもって自らの意見を主張できるよう指導を行う。

本授業で修得を目指す「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」と指導のポイントは下記の通りである。

|  |  |
| --- | --- |
| 知識・技能 | ・「赤字」路線のコミュニティバスへの補助金支出を中心に、地域の交通問題の現状と課題を理解する。他方で、コミュニティバスの見直し・改善が目指されるなか、その目的は「利便性の向上」・「利用の促進」が中心であり、収支改善（赤字の回復）を理由とするものは比較的少ない現状がある。  ・コミュニティバスの見直し・改善に関わる地域の公文書等の資料の分析を通じて、様々な資料から自身の判断に必要な情報を適切に修得する技能を身に付けさせる。 |
| 思考力・判断力・表現力 | ・コミュニティバスの見直し・改善の検討については、財政上の観点だけでなく、高齢者等の市民生活の安定・向上等様々な観点から検討が行われており、そうした多様な観点が反映した公文書等を多面的、多角的に読み込むことで、思考力・判断力を身に付ける。  ・グループワークを通じて、多様な意見を受け止めるとともに、議論やワークシートを通じて、自らの意見を適切に表現する力を身に付ける。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・グループワーク及びワークシートを通じて、身近な社会問題に対し、主体的に問題解決に取り組む態度を育む。 |

３．事前準備

（1）資料準備

・生徒への配布資料として、ワークシートと以下の資料を用意する。（　）内は用意する際の参考情報。

|  |
| --- |
| ☑資料1「○○市コミュニティバス将来的なあり方方針」　（審議会の答申）  ☑資料2「第1回○○市コミュニティバス将来的なあり方検討専門部会資料」　（審議会資料）  ☑資料3「課題路線の現状」（審議会資料） |

※審議会資料や答申については、地方公共団体のウェブページに掲載されていることが多い。

※資料の配布枚数が多く、生徒の負担になる場合には、配布資料を限定し、教員の説明資料としてもよい。

（2）グループワーク分け

・グループワークのため、　掃除の担当班を軸に4～6人程度のグループを形成する。

４．授業展開案

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 学習内容 | 学習活動 | 留意点 | 提示資料 |
| 導入５分 | １．コミュニティバスに乗ったことはありますか？ | ・コミュニティバスおよびデマンド交通が地域の交通を支えている現状を確認する。 | ・地域のコミュニティバスを利用したことがあるか、その名称・路線（どのあたりを走っているか）を確認する。 | PowerPoint1～2頁  ※適宜、市のコミュニティバスのウェブページにより名称・路線等を提示する。 |
| ２．「赤字」バスに補助金は必要ですか？ | ・コミュニティバスの「赤字」路線への補助金の支出について生徒自身の意見を問い、ワークシート課題1に意見（賛成・反対）と、その理由をまとめる。 | ・市内の「赤字」路線の現状には触れず、「『赤字』路線があった場合補助金を支出するべきか」と仮定の質問により問題を提起する。 | PowerPoint3頁  ワークシートの配布 |
| 展開（1）５分 | ３．自治体におけるコミュニティバスを巡る状況 | ・PowerPointを見ながら、コミュニティバスの導入状況、運行目的、補助金の支出状況、見直し・改善を確認する。 |  | PowerPoint4～9頁 |
|  | ４．○○市におけるコミュニティバスの現状を知ろう！ | ・PowerPointを見ながら、○○市におけるコミュニティバスの現状を確認する。 | ・コミュニティバスの開設年・路線(ルート)・見直しの検討状況を整理する。 | PowerPoint10頁 |
|  | ５．○○市におけるコミュニティバスの現状を知ろう！  【資料読解】 | ・☑資料1・資料2を配布し、○○市のコミュニティバスの特徴（導入の目的）を読み解く。  ・PowerPointを見ながら、利用状況を概観する。  ・☑各ルートの課題を概観し。市内のコミュニティバスの現状を概観する。 | ・路線（ルート）ごとの整備目的に注目させる。  ・1台当たりの輸送人員を確認し、赤字か黒字かに注目させる。 | PowerPoint11～13頁  ☑資料1「○○市コミュニティバス将来的なあり方方針」および☑資料2「第1回○○市コミュニティバス将来的なあり方検討専門部会資料」の配布 |
|  | ６．○○市におけるコミュニティバスの課題を解決しよう！  【グループワーク】「赤字」路線の利用状況を検討しよう！ | ・☑資料3を配布し、「赤字」路線の利用状況（移動実態）を調べ、その特徴をまとめる。  ・☑グループワークを通して、ニーズに合った路線の改革案を議論し、ワークシート課題2（1）にまとめる。 | ・ワークシートには①利用者の特徴、②想定される利用目的、③路線を廃止した場合の地域への影響、④改革案をまとめさせる。  ・発表することを前提に、まとめることを意識させる。 | PowerPoint14頁  ☑資料3「課題路線の現状」の配布 |
|  | ７．発表 | ・グループの代表者が発表する。  ・他のグループの意見・アイディアをワークシート課題3（2）にメモする。 | ・発表者の補足を行うとともに、重要な発言を板書しまとめる。 | PowerPoint15～16頁 |
| 整理５分 | ９．まとめ「赤字」バスに補助金は必要ですか？ | ・授業導入時の質問を再度確認し、授業を踏まえ自身の意見が変化あるいは維持されたか、またその理由をワークシート課題３にまとめる。 | ・生徒に社会が直面している課題に関して自らの意見を持つことの重要性を意識させる。  ・「赤字」路線という財政面だけでは語ることができない、市民生活のなかでのコミュニティバスの役割を考察し、地方自治のあり方について考察を深めることをねらいとしている。 | PowerPoint17頁 |

５．評価のポイント：

・生徒自身が住む地域のコミュニティバスの現状と課題について、自身にも関わる社会課題として主体的に取り組み、様々な立場の意見があるなか、根拠をもって自らの意見を主張することができたか。

・公文書等をはじめとする資料から情報を適切に把握し、「効率」・「公正」の見方・考え方を踏まえ、議論することができているか。

1. 国土交通省関東運輸局交通政策部「関東運輸局管内におけるコミュニティバス・デマンド交通の実態及びバス待ち環境の先進事例に関する調査業務報告書=コミュニティバス・デマンド交通の実態に関する調査」（平成31年3月） [↑](#footnote-ref-1)